

都留市史

資料編 近現代

突 尾県学校の建築請負証文

明治八年（一八七五）一二月

請負之証

一 西洋作学校二階附一棟 表口七間 奥行七間
但シ此間表矢倉ニ付

一銭印紙

此請負金四拾円也

但出来迄左官手間料 但扶持米・アク・フノリ共

右学校及壁塗窓共、左官一式、前書之通金四拾円ニテ取極メ、請負申処実正也、且右金之内手附金トシテ金拾円御渡被下、正ニ受取申候、残金之儀は新打之節金式拾円、尚又皆成之上金拾円御渡被下候、尤作事向之儀は可成丈入念手抜等無之様、来ル子ノ四月迄ニ無相違成功可仕候、仕上不宜廉は如何様とも御差図之通相直し可申候、若又万一病氣等ニテ不得止事故出来之節ハ、代人相立御差支不相成様可仕候、依之受負証差出申処如件

都留郡第一区

禾生邸ノ内旧小形山

請負人

渡 辺 重三郎

証人

平井市郎右衛門

明治八年

亥十二月十八日

平井源左衛門

学校世話掛御中

（小形山 井上敏雄家文書 教育三）

【解説】 郡内地域でも上野原学校（明治九年開校）、瑞穂学校（明治一〇年開校）に次いで完成した、擬洋風の学校建築として著名な尾県学校の建築関係の史料である。このバルコニーや塔屋のある尾県学校の開校式は明治一年に行われている。次に掲載している「学校人足記」とともに地域の人々と学校建設の関わりを検討することができる史料である。

突 尾県学校人足記

明治八（一八七五）年

覚校人足記

石 肩具

一 式人
新曆十月廿一日

一 拾人
材木出シ

同 十一月二日

一 同
建揃

同 三日

一 同
同

同 四日

一 拾五人
増共
同 外ノ衆者雨降早仕舞、私共は暮ル迄増

五人

同

一 拾五人
五日

巷

同

ト附置候得共

同 六日

一 拾壹人
材木出シ

同 十二月九日

一 四人
歩行係ケ

同 同 廿日

一 壹人
先山

同 同 廿一日

一 式人
屋根屋小屋掛

同 三月十二日

一 三人
人足当前ノ亥、学校庭土平シ、前道土平シ

同 四月五日

一 二人
先山ニ出ル

同 同 廿四日

一 同
大中土手水切払

同 同 廿五日

一 同
立岩法沢

同 同 廿五日

一 同
登セ石積ミ、村請

同 五月廿日

同 同 六月八日

同 同 同 一金三円也

中谷

禾生村役場殿

明十四日(雨天順延) 午前八時ヨリ秋季連合陸上競技大会 挙行候
間、奨励ノタメ万障御繰合せ御参観下サレ度
右御案内申上候

(昭和十四年「学務」)

(都留市蔵 旧禾生村役場文書四〇九)

【解説】 尾県小学校と同農業青年学校、そして青年団の共催で、村ぐるみでの秋季連合陸上競技大会の参観案内である。

同 三日
一老人 同ク
同 四日
一老人 同ク
同 五日 真木矢淵橋荷間
一老人 出ル
同 十七日
一老人 学校道具出シ
同 廿三日
一老人 地検出ル、向田
一老人 同ク、ヲハチマン・フジクボ
同 十九日 地検出ル、松ば入
一老人

同 十九日
一老人 地検出ル、松ば入

五〇四 尾県小学校などの連合陸上競技大会プログラム

昭和十四年十月十三日 昭和十四年(一九二九)一〇月

尾県小学校 尾県小学校 長 奥脇義成
尾県農業青年学校 長 大野泰通
青年団尾県支部支部長

競技会順序(八時開始)

	午 前 之 部	開 会 之 辞
1	ラジオ体操	
2	級対抗リレー	
3	体 操	
4	級対抗リレー	
5	リレー	
6	置換競争	
7	三ヶ月様	
8	五百米	
9	級対抗リレー	
10	金魚のひろね	
11	障 害 物	
12	縄飛び競争	
13	進軍万歳	
14	俵 運 び	
15	玉 投	
16	メートル競走	
17	仕度競争	
18	体 操	

全一青三青五一青五一青
校 選 年 選 年 年 選 全 年
二 四 六 二 六 二
三 四 五 六 女
青 一 二 六 六
一 五 青 五

明治十五季学校普請

十月四日
一人足五人 新打壁
同 八日

一人足八人

裏返し壁

寅ノ三月十三日 学校樹、金山ヨリ松コギ植ル、熊吉

同 十四日 学校樹、中谷利右衛門様分植木コギ、又天句山

同 十五日 舟場橋荷間出シ、熊吉

明治十一寅年

四月十八日 御普請、川中ニ出ル

同 廿五日 熊吉、前梓結メ

一 同 同人、向梓結メ

五月二日 出ル、間木出ル、同人、同瀬キ达ミ

一 同 出ル、メ三日、同人、又ハヲカリ

御普請 蛆狩リ

寅ノ六月廿四日

一金老分式朱 熊吉

メテ四日出ル

二人 良八より来ル 彦右衛門

(尾県郷土資料館所蔵文書)

【解説】 小形山での尾県学校建設の過程をうかがうことのできる史料として「学校人足記」を収録することにした。この史料の年代は、明治八年から同一一年までであるが、なかには一部橋の架け替えや用水の管理の記事がはいっているというが、その検討も含め取り敢えず全文を紹介することにした。

女選女選女年選男女全年選年全女年手
四三四三二五六四二六六
全三二二二青一三四三青一青五五青選

午 後 之 部

1	旗競走	優勝旗授与
2	の丸競走	閉会之辞
3	日メートル	
4	兵隊引き	
5	網引	
6	自転車競走	
7	メートル競走	
8	大井川	
9	御国の子供	
10	兄弟よ米	
11	一綱引	
12	手無猿	
13	攻城ボール	
14	大平洋進曲	
15	教 練 一	
16	成績発表	
17	聖寿万歳	

禾生村役場殿

明十四日(雨天順延) 午前八時ヨリ秋季連合陸上競技大会 挙行候
間、奨励ノタメ万障御繰合せ御参観下サレ度
右御案内申上候

(昭和十四年「学務」)

(都留市蔵 旧禾生村役場文書四〇九)

【解説】 尾県小学校と同農業青年学校、そして青年団の共催で、村ぐるみでの秋季連合陸上競技大会の参観案内である。